

## 5 最終需要による移輸入誘発

県内で発生した最終需要や、更にこの最終需要により誘発された各産業の生産活動に必要な原材料などは、全てが県内で賄われる訳ではなく、県内にないものや県内の生産活動だけでは賄いきれない需要については、県外から移輸入されることとなります。

このように、最終需要により直接・間接に誘発される移輸入を移輸入誘発額と言います。

移輸入誘発額について最終需要の項目別に見てみると、移輸出が1兆2,826億円で最も大きくなっています。次いで、民間消費支出が9,740億円、県内総固定資本形成（民間）が3,299億円などとなっています(表25)。

表25 最終需要と移輸入誘発

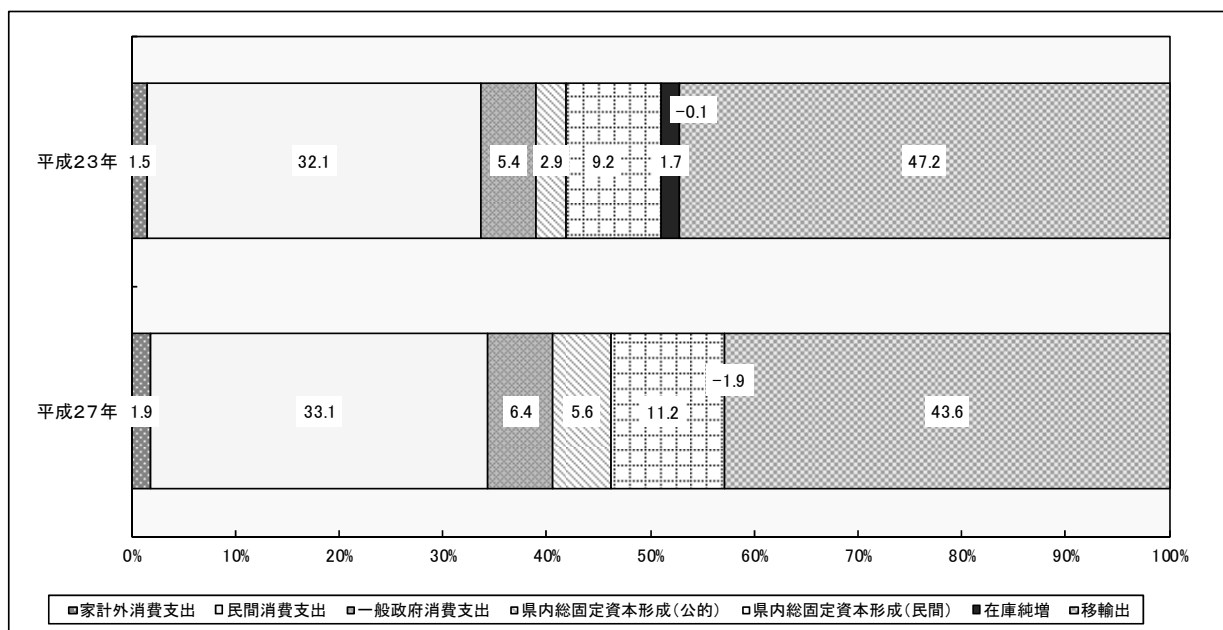
	移輸入誘発額(百万円)		移輸入誘発依存度(%)		移輸入誘発係数	
	平成27年	平成23年	平成27年	平成23年	平成27年	平成23年
和歌山県						
家計外消費支出	56,462	46,705	1.9	1.5	0.520290	0.525315
民間消費支出	973,987	995,939	33.1	32.1	0.476800	0.486136
一般政府消費支出	187,923	166,782	6.4	5.4	0.218507	0.218927
県内総固定資本形成(公的)	165,459	88,473	5.6	2.9	0.447371	0.435148
県内総固定資本形成(民間)	329,907	285,644	11.2	9.2	0.568466	0.634926
在庫純増	-56,008	51,572	-1.9	1.7	0.899170	0.813356
移輸出	1,282,559	1,463,380	43.6	47.2	0.466499	0.538901
最終需要計	2,940,290	3,098,494	100.0	100.0	0.442245	0.489377

次に、各産業部門の移輸入が、どの最終需要項目によりどれだけ誘発されたかの割合を示している移輸入誘発依存度を見てみると、移輸出の割合が最も高く43.6%となっており、次いで民間消費支出が33.1%、県内総固定資本形成（民間）が11.2%などとなっています。

平成23年と比較すると、移輸入誘発額の移輸出が減少しており、割合も縮小していますが、依然として最終需要項目全体における移輸出の割合が高いことが下の図22からも分かります。

また、移輸入誘発依存度が低下している項目は、移輸出の他に、在庫純増のみとなっており、これは、移輸出の割合が減少したことによって、他の項目の依存度が上昇したためと考えられます。

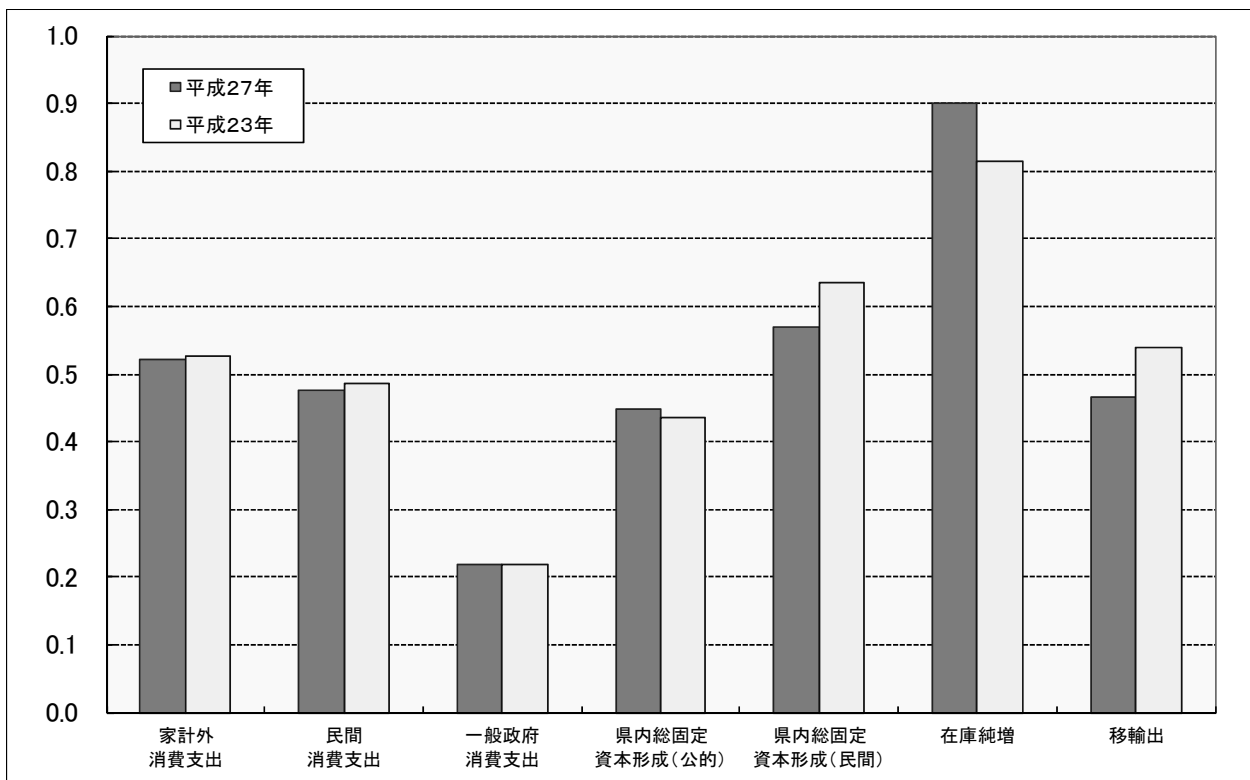
図22 最終需要項目別移輸入誘発依存度



1 単位の最終需要によって、移輸入がどれだけ誘発されるかを表している移輸入誘発係数を最終需要項目別から見てみると、在庫純増が 0.899170 倍で最も高く、次いで県内総固定資本形成（民間）が 0.568466 倍、民間消費支出が 0.476800 倍などとなっています。

平成 23 年と比較すると、県内総固定資本形成（公的）と在庫純増を除く項目すべてが低下し、総需要全体で見ると減少していることが分かります(表 25,図 23)。

図23 最終需要項目別移輸入誘発係数



## 解 説

移輸入誘発額 … 最終需要項目別移輸入誘発額合計＝移輸入額

移輸入誘発依存度 … 移輸入誘発依存度＝各最終需要項目別移輸入誘発額÷  
最終需要項目別移輸入誘発額合計

移輸入誘発係数 … 移輸入誘発係数＝各最終需要項目別移輸入誘発額÷各項目別最終需要額